

第3回 FIT大学院インフォメーション・セッション 「ファッションビジネスで、グローバルに活躍する」 Global Fashion Management コースで学べること

日本FIT会は一昨年、昨年に続き、ファッション産業のグローバル人材育成のため、米国FIT(ニューヨーク州立ファッション工科大学)のユニークな大学院コースを紹介するセミナーを、同校の教授を招き開催する事になりました。これはファーストリテイリング社と「日米カウンシル」のご協力をいただいで実現したもので、これまで当セッションの参加者より5名の留学生を輩出しています。

世界がグローバル化するなかで、ファッション産業においても、世界的に活躍できる人材が不可欠になってきました。しかし、グローバル人材を理論や知識ではなく「実学」で育成するプログラムは世界でもほとんど無く、FITのGlobal Fashion Management*が、抜きん出た存在になっています。この修士コース(学位はMPS=Master for Professional Studies)は非常にユニークかつ実践的で、ニューヨーク、パリ、香港を研修の場とする立体的なプログラムであり、世界各国から多様な人材が学んでいます。*当コースについては、<http://www.fitnyc.edu/2865.asp>でご覧いただけます。

このコースには、過去3年間ファーストリテイリング社(ユニクロ)の留学奨学金が、日米カウンシルのTOMODACHIプロジェクトとして設置されており、その2~3期生の日本女性(4名)が、現在当コースで学んでいます。この奨学金は、来年度も継続されるものと期待されています。

セミナーの対象者は、グローバル・キャリアをめざして留学を希望する人、企業あるいは教育機関で人材育成や学生の留学指導に当たって居られる方々です。この貴重な機会を是非ご活用くださるよう、ご案内申し上げます。

日時 2015年11月24日(火曜日) 18:30~20:30(18:00 開場、18:45以後は入場できません。)

会場 ファーストリテイリング社(ユニクロ)本社 会議室3411(東京ミッドタウン内)
東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
33階の受付においでください。会場は内部階段を使用して、34階となります。

プログラム

1. FIT卒業生が語る「留学とキャリア」、FIT在学生の「GFMコース・レポート」
2. 講師によるFIT Global Fashion Management コースのご紹介
3. Q&A セッション

※一部通訳有り

講師 Dr. メアリー・デイビス / FIT大学院 ディーン
Prof. パメラ・エルスワース / FIT・GFMコース 主任教授
FIT卒業生 布矢 千春(杉野学園ドレスメーカー学院 院長)、FIT卒業生 馬場 基臣((株)RIBOT代表取締役)
FIT/GFM留学生 保田 優衣(在校中)及び 尾原 蓉子 / 日本FIT会 会長

参加費 無料

申込方法 info@fitkai.jp まで、参加希望者のお名前、職種、所属企業(または学校)名をご記入の上、メールにてお申し込みください。(定員に達し次第、締め切りとさせていただきます) **締切:11/19(木)**

なお、奨学金に関する情報は日米カウンシル「TOMODACHI-UNIQLO フェローシップ」のウェブサイト
(URL:<http://usjapantomodachi.org/ja/programs-activities/tomodachi-uniqlo-fellowship/>)に掲載される予定です。

主催: FIT (Fashion Institute of Technology) 及び 日本FIT会
後援: JFWO (一般社団法人 日本ファッション・ウィーク推進機構)

講師プロフィール

FIT大学院 ディーン **メアリー・デイビス (Mary E. Davis) 氏**

ニューイングランド音楽院にて音楽学の修士課程を終え、ハーバード大学で音楽学の博士号を取得。ファッション工科大学(FIT)大学院長に就任する前は、1998年から2012年まで、ケース・ウエスタン・リザーブ大学の音楽学部の教員を務め、2009年以降の4年間は同学部の学科長を務める。在任中は、ロックンロール・ホール・オブ・フェイム博物館(ロックの殿堂)の大学側リエゾンとして、また、学内のベイカーノード・センター(人文科学研究科)のアソシエイトディレクターとして尽力した。著書には、Classic Chic: Music, Fashion, and Modernism (2006)、エリック・サティの半生を綴った伝記 Erik Satie (2008)、Waiting for A Train: Jimmie Rodgers's America (2009)、Ballets Russes Style: Diaghilev's Dancers and Paris Fashion (2010) がある。

FIT大学院教授 **パメラ・エルスワース (Pamela Ellsworth) 氏**

ボストンにあるスクール・オブ・ファッション・デザインを卒業後、FITにてテキスタイル・マネジメントを学び、コーネル大学のアパレル&テキスタイル・マネジメント学科を卒業。さらに、FIT大学院のグローバル・ファッション・マネジメント学科の修士号を取得。現在はFIT大学院グローバル・ファッション・マネジメントの学科長を務め、教授として教鞭も執っている。2007年に学科長に選任される以前は、テキスタイル大手企業として知られるバーリントン・インダストリーズにおいて輸出事業の商品開発マネージャーとして勤めながら、同時にアジアとアフリカ地域におけるマーケティングと生産プロジェクトのコンサルティングも行っていた。また、演劇、オペラ、ダンスなどの舞台衣装係として自身のキャリアをスタートさせたという経歴を持ち、現在、コーネル大学の学長諮問委員会コーネルウーマンの招待メンバーでもある。

杉野学園 ドレスメーカー学院 院長
布矢 千春 氏

ドレスメーカー学院デザインアート科卒業後、商社でデザイナーとして勤務。FIT、バルビゾンスクールに入学。卒業後、ファッション企画経営コンサルタント会社(株)コルクルームに勤務。その後、(株)ファッションプレーンを設立、代表取締役役に就任。事業拡張のため(株)フォルトナボックスに社名変更。2015年4月ドレスメーカー学院院長に就任。

株式会社 RIBOT 代表取締役
馬場 基臣 氏

東京理科大学卒。2005年FIT Menswear Design科卒業。帰国後、(株)アト・ワンズ入社。DRESS CAMPでアシスタントを経て、'09~'11年の間メンズのチーフデザイナーとして活躍。'12年に独立し、asicsのアパレルデザインに携わる。'14年よりは、Onitsuka Tigerのアドバイザー、アクセサリーデザイナーに就任。

日本FIT会 会長 **尾原 蓉子 氏**

日本に初めて「ファッション・ビジネス」の言葉と概念を、1968年に訳書『ファッション・ビジネスの世界』により紹介。以来、ファッション産業発展への貢献と人材育成がライフワークに。旭化成出身。財団法人ファッション産業育成機構FITビジネススクール設立にも貢献。学長を10年務めた。東京大学卒。FITおよびハーバード・ビジネススクールAMP卒。FIT「生涯功労大賞」、「毎日ファッション大賞・鯨岡阿美子賞」、また「ハーバード・ビジネススクール・ビジネスマン/ウーマン・オブザイヤー」を日産自動車社長カルロス・ゴーン氏とともに受賞。一般社団法人WEF代表理事。



Fashion Institute of Technology (FIT)



<http://www.fitnyc.edu/>

ファッション業界のプロフェッショナル人材育成教育機関として1944年創立。その後ニューヨーク州立大学になる。現在は、ファッションおよび関連分野における、デザイン、テクノロジー、ビジネスの多様なプロフェッショナルを養成する総合大学。コースとしては、2年制・1年制準学士(A.A.S.)コース、4年制学士(B.F.A./B.S.)コース、修士(M.A./Professional Studies/Fine Arts)コースがあり、アパレル、小売、テキスタイル、インテリア、コスメティックス、広告、美術、玩具などの専門分野をカバーする45以上のプログラムを提供している。マンハッタンを中心に立地、「マンハッタン全体がキャンパス」を合言葉に、ビジネスの現場に密着した「実学」の教育に力を入れている。全日制学生数1万人以上、夜間や短期集中講座を含む2万人以上が学ぶ。日本人をはじめ海外からの留学生も多い。

日本FIT会

FITのいずれかのコースを卒業あるいは在学の経験がある個人を中心に、会の活動に協力・支援等をいただいている個人、企業を賛助会員とする同窓会組織です。詳しい会の活動等に関しては、<http://fitkai.jp/> をご覧ください。